

「地域の方で誰もが暮らしやすい町を目指して」
広げよう支え合いの輪



「住み慣れた家で自分らしい暮らしをしたい」誰もが抱く願いです。しかし、私たちの暮らしの中には、日常生活上ちょっとした困りごとや心配ごとが存在し、誰かの力を借りないと解決できないものもあります。

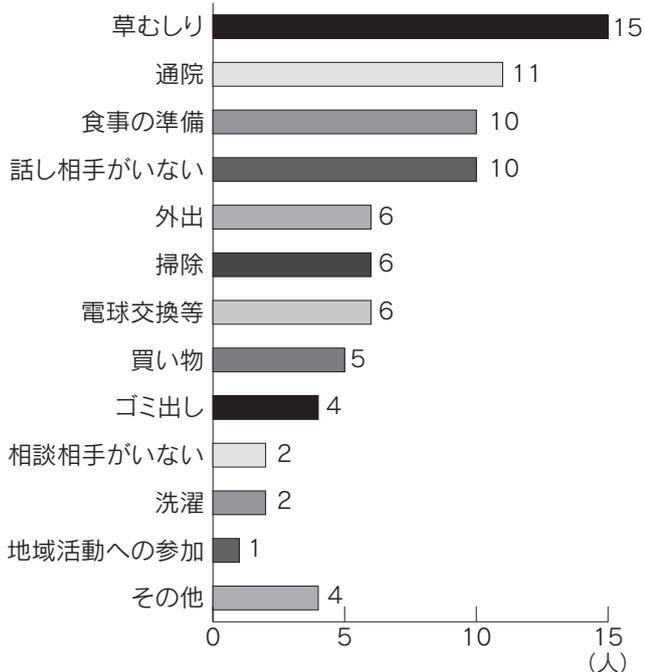
そこで、町では、賀美小学校区（以下賀美小地区）をモデル地区に選定し、地域支え合い活動準備委員会を立ち上げ、地域の困りごとを地域で支える仕組みづくりを検討しています。

そして、困りごとや心配ごとを抱える方が孤立しない地域づくりを目指していきたいと考えています。

賀美小地区在住の方を対象とした2つのアンケート調査結果 H30年度実施（抜粋）

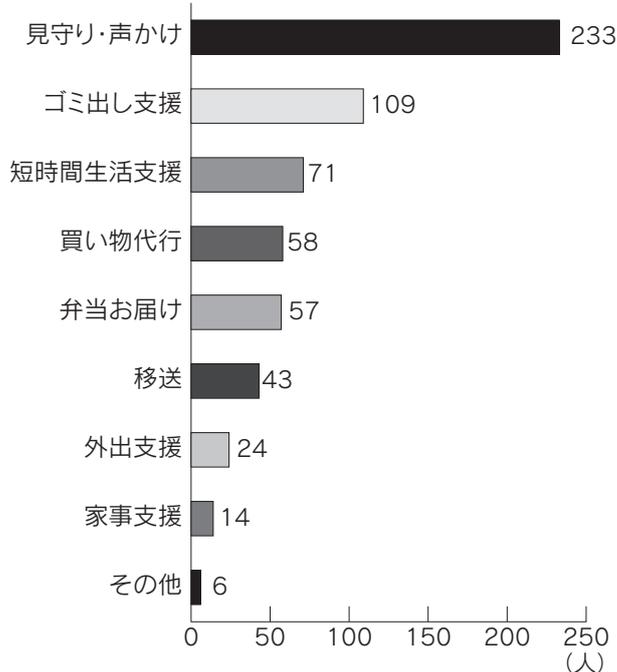
《高齢者の困りごと把握アンケート》

Q. 困っていることはありますか？



《支えて把握アンケート》

Q. どんな支援やお手伝いに協力できますか？



【賀美小地区
地域支え合い活動
準備委員会の設立】

2つのアンケート調査結果を踏まえ、ちょっととした困りごとを住民互助で解決するために、令和元年5月に「第1回地域支え合い活動準備委員会」を発足させ、7月に第2回を開催しました。各回ともグループに分かれて、意見交換を行いました。

今後は、2か月に1回の頻度で、地域の支え合いについて、意見交換をしながら話し合いを進めていきます。

賀美小地区にお住まいの
みなさん限定

新規参加者募集！
(事前申込不要)

◆次回開催日時

11月23日(土)

午後1時30分～3時30分

会場：賀美公民館

*奇数月の第4土曜日

13時30分から

定期開催しています。

===地域支え合い活動準備委員会の参加者に聞きました===

第1回参加者：30名

テーマ

高齢者の困りごとに、賀美小地区として
何から取組んでいきたいですか？

水上 大助 さん 42歳（黛）

上里町に引っ越して来て2年とちょっと経ちますが、町のこと、地域のこと、地域支え合い活動準備委員会に参加しました。町民体育祭等には参加していますが、コミュニティの場が少ないと感じています。

この会に参加してみて、知らない方の意見も聞けるので、すごく良いと思いました。これからも、みなさんと一緒にまちづくりについて考え、意見交換しながら楽しく過ごせれば良いと思っています。



第2回参加者：22名

テーマ

ご近所付き合いや地域の行事から、
住民の交流をもっと盛んにするためには？

中村 孝布 さん 63歳（金下）

賀美小・上里北中、両方のPTA会長と連合会長を歴任し、少年野球にも携わっていましたが、ご近所との交流は少なかったです。最近では、区長になったことや自身の子どもを通して、色々な方と交流が増えたと感じています。地域支え合い活動準備委員会に参加してみて、普段なかなか話し合う場がないので、良いことだと思いました。

コミュニケーションは会話から生まれる。顔を合わせる事が大事。

地域活動は色々な組織（団体）があり、それぞれの役割だけでなく、各団体が連携して、一緒にやっていくことで、より良い活動になると思います。



【今後の
活動について】

現在、ご近所の方や小学校区に暮らす方に目を向け、自分の地域について考え、地域で困っている方を支えるための取組みや地域住民同士のつながりを深めるためのアイデアを出し合い、話し合いを進めています。無理なく長く続く取組みとするため、誰とつながり、どのようなルールづくりが必要かなどの仕組みづくりの検討を行なっていきます。

この活動を多くの方に知っていただき、自分の地域について考えていただく機会となるよう、賀美小地区の皆さまには、地域支え合い活動準備委員会に顔を出していただきたいと思います。そして、賀美小地区で日常のちょっとした困りごとに対して地域で支える環境を整えましたら、他の小学校区にもこの活動を広げていきたいと考えています。

問合せ

上里町地域包括支援センター
【035-1243】